民政席から「起冥合か」と連 有に泥灰合的墨雷を続ければ 東京関通)山口君更に陸軍

**緩和する位の事を約束した** とも日本の對支強硬政策を

来た、山口君は他に喰があるが見逃してやると言ふが と言って欲 とい

戦るか∭らぬかは自分の勝 通りかも知れないがそれを 通りかも知れないがそれを

友解は拍手で膨緩する

田中内閣とも懇談し私の意思が同意されて君國に悲し見が同意されて君國に悲し得たと今も信じて居る、此君國奉公の心を持つ自分が何で金などを取るか、大体人を論談するにはどんな人であるかを知つた上で論議されよ、皇國青年將校何志されよ、皇國青年將校何志されよ、皇國青年將校何志されよ、皇國青年將校何志されよ、皇國青年將校何志されよい、私を相手としたければれる場合として承ないやうなものを相手とする必要はない、私を相手としたければ、名乗つて来ない時からない、私を相手としたければ、名乗つて来ない時がで述べたでればしんとして角融する。

人 と遊襲し自分から廣島電氣、 動場改善等につぎ自己を中心 動とした懸を述べたてた こんな泥試合の問題は成る べく調會で収上げない方が よいと選ぶ よいと選ぶ よいと選ぶ よいと選ぶ よいと選ぶ よいと選ぶ と存って降増、次いで山 口養一君登権 山口君 その印刷物を出した

問題を中心として後藤内相。 郎君(敵友)登壊、最村教済 問を終る、それより高橋龍一

間を終る、それより高橋龍一と突張り山口君の綱紀開題質

億二十萬圃に對し一般行政 大百萬圃に満ぎない、軍事 養は優力が之に伴はなけれ 透しの安全感は確立し得 ないと思ふ、一人職相のみ ならず軍部大臣は幽嶽財政 をもず軍部大臣は幽嶽財政 をもず軍部大臣は幽嶽財政 ならず軍部大臣は幽嶽財政

たの

一十三日午後五時三十一十三日午後五時三 一十三日午後五時三 日から 一年後一時三十分着

だ趣きない

0 -1

ね、サヤー主

してまり

と、云ひながら、夫人の難職

氏は事務打合せのため二十四滴鎖摩北建設事務所長字末前

事務所長赴連

年前十時景率大へ

やさな足骸が聞えて即もなく、 いさな足骸が聞えて即もなく、 しなかつた。すると、膨下に、 しなかつた。すると、膨下に、

不だい! 水人

つに、ちにない

二十三日正午齡公

と、呼ぶ躍といつしよに、ド

のあく習 もう、お強よ

[-++]

を無視して

も削れない

個人本位から

男氏(陸軍大尉)二十 (佐工特三十分藩寨天 (佐工将三十分藩寨天 (大田・東京ル政宿 (大田・東京ル政宿

だった。

『ママのお腹切し

もう思さな

タアで火をうつして

あひだに出来た、韓といふ子供

るなく、

らるの、どこか説林質らしい男

のはうへ歩いて

京同橋 君 現時の関際情勢より関防の光質は必要である。 常木前醛は不徹底である。 常木前醛は不徹底である。 常木前醛は不徹底である。 常木前醛

相の所信を問ふる公債財源による財政計畫の会債財源による財政計畫の公債財源による財政計畫の公債財源に組れば必然が、いて公債財源に組れば必然が、いて公債財源に組れば必然が、

時り度いと思つて出掛けた は有離いが多くは假定の上 に立つてのお話である、 に立つてのお話である、 に立つてのお話である、 で出來るならば實情を見て で出來るならば實情を見て

山口君 その印刷物を出した ものは陸軍省の役人である 除軍少佐である、だからそ の銀白を示すためには取消 しを要するか名譽型損に訴 へるかしなければ関足の疑

分注意する

大人學北俄設事務所

い顔を、ちよつと繰り

は、何かおへてゐたらし

へてるたらし

した夫人の様子を

二十四日正午發1

政友。暴露攻擊續

ば

ておき作ら現地においてか は 抵抗せずして徹退を明冒し ほ

は軍は勝乎として徹底的軍での如き攻撃的態度に出で

は常然支那側の責任である 低を行ふ決意を有してゐる

斷乎彈壓を加ふ

關東軍司令部當局談

**A**平洋政治協定締

先づ英國ご折

隊備交渉ご關聯注目さる

山本海軍

末までの豫定である

滅民政部大臣

一月八日

山口義一氏の

五十萬圓怪文書の

の方途を講ぜしめることに

須磨總領事と

精衛氏會談內容

政府 としては陸軍書

怪文書問題に關する

陸軍當局

都合で支那の個答を求むるに至らず近く再會見し回答をを求めたのみで新政策には喜及せず同日の會見は時間のと汪精衛氏の會談内容は最近排日運動に關し支那の反省と汪精衛氏の會談内容は最近排日運動に關し支那の反省

北黒線 辰清線 北黒線 辰清線 北黒線の一部である 辰 青線 北黒線の一部である 辰 青線 を用列車としては目下混合列 を得日一国双方線から 愛車 としてもるが 假營業 は本年入月

就いた(寫質は職大臣)

二十四日午前十時級 小孝三郎氏へ寒天興信

東京関連)行政視察のため

● 年リンプ ・ 本会部第版氏(阪神電館會社 ・ 典) 二十四日午前十時三十 ・ 分音大連から大和キテル投 ・ 分音大連から大和キテル投

ンズ氏(霧閣縣護士)

陸軍に方途を講ぜしむるか

市着

歸國の途に

韓國の途上にある帝國軍総代 長山本中將一行は二月入日午 表山本中將一行は二月入日午 東京へ直行の 強定である

▲石原文塞氏(脚東局員)二十四日午前九時着大連から 十四日午前九時着大連から 大和ホテル校宿 大和ホテル校宿 大和ホテル校宿

この醍醐においてわが

大

尉 (中職長)一名

書 ・ 劉自珍の所在地た の が長 の の が長

敬軍を 撃退し 午後三時に至り

のつて落された、永

名である、

更に二十四日ある

らだが、それとても政友者 たなけのことで誰一人意識 たなけのことで誰一人意識 して解係してゐると言ふことも無いし勿論將校以下十 とも無いし勿論將校以下十 とも無いし勿論的校以下十 なは全く事實無後、要する に山口君の演説は床次氏攻 際に名を着りて陸軍に對す る間接射撃だ

**宋哲元軍逆襲** 

皇軍遂に行動を開

たまりもなく敵軍を撃退して

史に某地向け進

日四十二 月 設行所 .... 

# 鐵讓渡

かっ

曾

最後の切

女八人感激時代中日

福定成立後の香侵處屋でソ聯は先づ廿一日で考究すべき網目餘項につき請訓中だつた 。述べ更に北鐵護渡協定起草委員會設置につき協議決定する筈で超草委員會は廿八日から聯は先づ廿一日までに纒つた協定内容に關しソ聯政府は承諾の旨を正式に表明、次で細き請訓中だつたが愈よ廿四日変に東郷歐亜局長と會見することゝなつた、本日の倉見は次カズロフスキー氏は廿一日東郷歐亜局長との會見に依つて成立した協定内容並にソ聯側のカズロフスキー氏は廿一日東郷歐亜局長との會見に依つて成立した協定内容並にソ聯側 内容はリ聯政府も承認

居り問題の設緩如何では相當 の決意で相對する決心と見ら 民政黨から 四日議可散會後政民兩黨連纂 四日議可散會後政民兩黨連纂 

題を以て床文遞相攻撃に當つ本會議で山口義一氏が綱紀間本會議で山口義一氏が綱紀間 を醸してゐる、此空氣に依り 同問題を続つて今後政友會が 同問題を続つて今後政友會が が成の指欄を受けてやつたも を刺戟し事態を懸化させるこを刺戟し事態を懸化させることを要慮し、既に薫内に物議を というを刺り、実協工作に

注意を促さん

政友內

不結果に終り政友會の黨內情 反感を質ひ又質問そのものも のであるが却つて舊政友系の が後任として陸軍省兵器本版を開閉の令部付参謀に榮称、來 内地に榮轉

本小川終雄氏 (ハルビン事實 本小川終雄氏 (ハルビン事 新九韓二十分融ハルビンへ 新九韓二十分融ハルビンへ 新九韓二十分酸ハルビンへ 一十三日午後七時蕭大和ホ 一十三日午後七時蕭大和ホ 一十三日午後十四日午前十時

観し政府が何等 政友系は爆弾動

かの感置を執いの意置を執

會全体として

心向の反映で

ので、政友业に其周圍の

000

が顔のそうにさし込 るやらに落ちてきてる

岡田軍政部顧問 しつかりとして要まったこの宝のなって、程の翻覧が、強くの強いをないとって表すらにまったこの宝が、一点くの強いがある。中はすべるやらになってるた。中はすべるやらになってるた。大人は、もうとしてくる愛筋いの光気が、あっているから、中はすべるやらになってるた。大人は、もうとしてくる愛筋いの光気が、あっている。大人は、もうというない。 酷をうごかしてゐるのだった。

るためにかの女は枕のうへで その一つが眼をさへぎ 識がなさい」 極ろすと、 地方は北京ない

意があってよ

きつと今夜あたりでは

いつ殴つてくるんで

空気がこもつて、化粧液や椅子 につよい者がの指ひの飽和した かなり 限 りある人生川及川原江海 3

などのせんさいな線が、 いてあるやうに見えた。 ではべいどうしたのよう。 云つて、夫人の難を、珍らしい た。散色い、パジャマのボタン が残れて、 りさらになってある。 いまにも腐からすべ

呼吸づ

ものでもみるやうに、始めてみ

本源大學 下,林 被 第 3 4 大附在文部》 大附在文部) 一日間共畫夜二回上映

H

て、小師他ひのきよを呼ぶと、 の、パス・ルームへ入ると、 金内が、変明けたすうに急にな ズ・テップを一水とつて、 たの夫人は、アプデュラのロウ しまつた。夫人は、ベルを押し 「あの、パスを出しといておく と、命じてから、かつて行つ ちよこなんと観を向 なった。おきよが、時 お面の音がきとうとき そこの大きな椅子の一 聴に、しきりにかる ママの所が 日本版 全發聲 星人耳口 4 八 三 英ル世 人 大 高級界 斯本 日 ・原 設 全 ・ 放出總同 合 座 イデメコ ク ツ ジュ ミ ・ 用値 神影 撮 ルコ

であるかは既に全談のアフリカ土人を であるかは既に全談のアフリカ土人を であるか所有の設置映高機が如何に優 であるか所有の設置映高機が如何に優 であるかは既に全談のアフリカ土人を であるかは既に全談のアフリカ土人を

道賀力、學

あたの

た人はちよつと苦

前新京地方事務所長荒木章氏

でこうした施療患者は事變前

張作相將軍

歸順許可さる

ることも出来ない哀れな人々 はなく、内地から過金を受け 來者であり職はなく、

少年團へ寄附

大經路署の

遺失品展覽會

好成績

今後もやる

荒木前所長

本で非常に多く受領したものが で非常に多く受領したものが で非常に多く受領したものが

理をする考へであるが遺失 い今後書看としては度々整 い今後書看としては度々整

全部馘首されるといふ風説に 情報に使れば北鐵路野は一時

展説像はり、悲喜交々の有様 現ソ聯從業員の間には強々の ま大詰めとなつたが之に伴ひ も大詰めとなつたが之に伴ひ

行方不明の男は

線路上で死亡

泥酔の上ふり落されたか

### 消店員有志大會も 當局の鎭撫で中止 太子堂で有志懇談會を開く 第一段の策を協議

會合更に店員側としての消費組合撤股運制に闘する對策を協議した、尙公會堂に於ける有志大會は當局の鎮撫により開け店員の意中とその立堪を考慮、有志應談會として太子堂に開催することゝなり今鶚午前五時から太子堂に店員代表者 二十四日午前七時から記念公會堂に開催するはずであつた反消店員大會は朝刊所報の如く中止の命令があり幹部

# 近ごろ不届きな 八力車夫

無理無態に客の荷を運ぶ 一日も早く接枚の實現されるされるといふ噂に非常に喜び

事を希望してゐると テルの小火 フランスホ

漸次殖えゆく

本年度に入って三十四名

社會係の施療調

たが、家人が競見、消防験のカフランスホテルから出火し 動を待たず消し止めた、

討伐に奮戦

一月十八日午前八時港道河子「郷池少尉の指揮する頂機關統、お兵の各一部職は「東京の各一部職は「東京の各一部職は「東京の各一部職は「東京の各一部職は「東京の各一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の第一の

務所社會係の調査によると昨 な人々が殖えてゆく、地方事質困のため施療を受ける哀れ

で収扱つた施療患者は全部で「衛生工業協會新京部會の主催年四月いらい十二月まで同係」「危長」、現場「自己日間 までは一名もなかつたものである

煖房取扱座談會

御來滿洲國皇帝に 久男の「キャピタル新京」の 久男の「キャピタル新京」の を博してゐる、兩作共に肖都へ設置と共に非常な實行好評 二作で期待せられただけに愈

してゐる東京生れのライオジ雌雄二頭を献上することに內定した。 (東京関語) 今春四月御來訪の滿洲國皇帝に東京市では現 在上野動物園に飼育 東京市ライオン二頭を獻上 で二十六日午後一時から市内 古野町記念公會堂で短房収扱の座談會が開催される。 會費 は不要 大衆的舞踊を主限としただけなく殊に「新泉よいとこ」は新京を表徴した歌詞音調申分 かに賄れるもので之亦好評、 男女何人にも一家揃つて賑や

「新京よいとこ」 愈よ發賣 

舊師走の吉林に

損害左の如し

靖安軍死者一名、負傷一名敵匪死傷者十五、六名

部は内地人で、その多くは新

亡二名、朱治退院一名で、朝

天、新京の満洲三都代表歌新 民議は各地一齊に廿一日より 民議は各地一齊に廿一日より ● 無包(マグネテイト辞石) 一個午後十時三十分着列車 三等車内 ▲風呂敷包(衣類)一個發車

定の暗を縫つて

で興盗國が出没行し迫つた獲師

起つた殺人事件、而も彼時者

事件は早くも迷宮入り

とない新京の年團へもそれ は雌京に際して西殿場小學校

ひ日本製品の承徳市場進出も一熟河製職後治安の恢復と共に の均等を企圖自發的に利潤

高率な利潤と相俟つて必然的に物價の騰貴を招來し最近ではかくては邦人の發展及び日本製品の進出を阻害するものと憂慮されるに至ったので在一月下旬承聽實案組合を設置し自設的に利潤の均等を行ひし自然的に利潤の均等を行ひ

策を講じてゐる 小川運平氏逝く

▲ ポスケット

舊正は特産物か

大豆の山

とは新京市中外銀行の特産貸出資金の激

旅

行

一備下サイ

自邸で胃潰瘍を病み臥床二日平無埋衛、大原を病を病を病を病を病を病を見る。 一日午後一時東京芝區愛宕町選に逝去、享年五十九、二十

金に替へられも特徴

の如き訓示があつた し努めて志氣の振作を期する、観察を騙み訓練に力を竭めなりで則とすべし 當り人民の信頼を得ること、書防には須く貨幣を以て 部下を誓勵するに須く酸 管內署長會議 一、皇帝陛下助日行幸事前金一、皇帝陛下助日行幸事前金 △特務科 、警士の不常補充に関する件類の徹底に闘する件 項及分駐所の處務に闘する 署長並等行事 参考報告の順行に関する

都警察廳

時務係主任者打

保印制度の強化及監督機

遠座規定瀬用の徹底化の

示事項に依る審職をなした特務科各科長より左の如き指 二、特務警察に関する数姿質一、特務警察に関する計構

守に関する件 旣達特務關係年中行事表

力車宿の査察

△司法科 件 る件

五、阿片狐金證月報に闘する四、阿片狐金證に闘する件 天然水採取禁止に示する 行新理髪營業許可申時に

レ勿ス落見

街の灯」ビイナッツペンダー「ものまね

東京銀座の人気者・

のよ復讐と思はれる節もありのよ復讐と思はれる節もあり



日曜金

2 6 日 日曜土

入集群 五十銭 五十銭











炭貯

大泰加新仁泰裕松

ニニカセラ 最大二番

三 大二里五二 一 六七一三〇 時 七六六八三 九 八〇七八二





同同

同同正



平 午 後 休 業 ・ 本 常 休 業

名古屋





新茂

III I III III 二一五六書



新京朝日通八一

立食

探石鄉陽木林子做) 專門福記公

**电话六七九四番** 

電五三九五西 

度に投げ込まれ

砂企企 県県県 野野町 間砂園

ふの銀相場

酒らは立食

品を料!! 二五通修一東京新

**東話五三〇二番** 

事らざる日振峽尤も凶事らざる日振峽尤も凶事と変が吉 学と変が吉 も赤大に入り來る吉日 未と壬が吉



▶いる下用利御非是をスンヤチのこ◆

新京日本橋通七二不破岸行內

### 賣廉切見大物冬の行洋林秋寺

の掃一荷殘は行洋林秋際此……すこんら終に既は多 行斷引割二り限に部全物冬及品製皮毛 毛皮製品皮

日五十二月

開 生れました 是非一度御來遊お待申して居ま 小座敷で粹な 小料理つめ きて

石之者今般都合ニ佐り退店仕候ニ付テハ石之者今般都合ニ佐り退店仕候ニ付テハ石之者今般都合ニ佐り退店仕候ニ付テハ

新京東二條通リニュ 田國 建一 材 祉

> 日本橋通り二五 電話二〇三二番 \*

左記の通り春季總會を兼ね新年懇親會 定記の通り春季總會を兼ね新年懇親會 情報の報合もあります故御手敷ながら左記へ御通知 青華僧の報合もあります故御手敷ながら左記へ御通知下さい 断京日本警通と二不後年行列 下さい 断京日本警通と二不後年行列 待ち兼ねの……ト 味のよい テモ

| 大大大学 | 大大学 | 大学 | 大大学 | 大大学 | 大大学 | 大学 | 大大学 | 大大学 | 大大学 | 大大学 | 大大学 | 大大学 | 大学 |



〇前 圓

人浴隨意誠實低康永滯在

の方は最適

(道路鋪裝完成) 海

七

新築落成炭房諸設備完備 二世五五 

和 京號

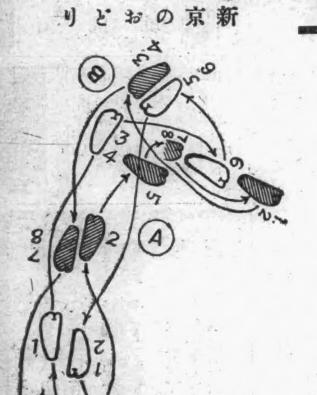
家敷設間場新

東亞與業株式會社等別市新發屯清和街第一〇十九四分前 水四四洗叠疊

賃 六六

踊も に誰

歌表代 都 新



9

京 (H)-

ョイデャナイカョイトキテ 物ゆる思ひの パラライカ、チョイ 物はウオラカ夜は夜でペテカ

新



新民謡新京よい 二八二一九 三朱線 豐 吉 小 友 山 田 和 香 大村能章作曲並編曲 {佐藤惣之助補作}



ムピアオ 古關裕而作 ゲスト ラ

この踊りはレコードの さい 御隨意に踊り始めて下 新京よいこ を二つチョチョジとう 向きにかり手拍子

### (可認物便郵種三第) (四) 聞 京 日 無の内臓を大量に建文して来た開地では 特ならぬ吉綱に大喜びである 年十二月十五日迄の新美州公二年度の加ぎは朝鮮税嗣總的二十八萬八千圓にして空前の二十八萬八千圓にして空前の二年度の加ぎは朝鮮税嗣總的 本は下であれば其の 世文 (位) であれば其の 世文 (位) を開はないこと し銀行業者の實情を見ますと し銀行業者の實情を見ますと し銀行業者の實情を見ますと し銀行業者の實情を見ますと としてもます、然し としてもます、然し を一年以下として改革を確實ならし が銀行の營業年度と非常にま も (一) で中には營業年度を半 生とするものもあり一年又は を (一) 鐵從栗員を剛籍別にみれば文 れること」なつたが現在の北 れること」なったが現在の北 か銀行の繁業年度は非常によいむを得ないのです、即ちかし銀行業者の實情を見ますと 便があるのでありますが、は監督上及統計作成上相當 新義州の對滿貿易 洲 空前の最高額 六、 六、 六、 三八〇 八 異 文教部禮教司では三千萬國民 開催のための機關) の九朝を占める蒙昧な民業に の九朝を信める諸様を の九朝を信める諸様を 一四 の上と民族騒和の促進を計る (十五龍から五十歳位まで の大朝衛の衛子 の大朝僧のための機関) 本における諸女化機関の撤退 の大朝帝の横関を 一四 (千五龍から五十歳位まで の大朝帝の衛子を 一四 (千五龍から五十歳位まで の大明を行います。 の本書を関、解を関、 本書を関、解を関、 本書を関、 の本書を関、 の本書を関、 の本書を関、 の本書を関、 の本書を関、 の本書を関、 の本書を関、 の本書を関、 の本書を関する。 本書を関する。 本書を表する。 本書を表する。 本書を関する。 本書を表する。 本書を表する 次は第七條でありますが、是 と及バランスシートを公告す べきことを規定したもので日 本の銀行法と同様であります バランスシートの公告は銀行 の信用を高める上に非常に大 大掃蕩計畫 大掃蕩計畫 有力であるが、候補地三 す所の内舊守備職あとが最も 其を御覧下さ 下さい、中華民國の やつてるる所もある又哈爾濱 ますであります、財政部 12年 では午前九時か とは夫女と、銀行關係法令パ ことになつて居ります、消洲 日本側のと、銀行關係法令パ ことになつて居ります、消洲 日本側の がこまかに決め 種々様々である事が到りまし 時と言いがこまかに決め た、朝七時から夜の十二時迄 すのでは がこまかに決め だ、朝七時から夜の十二時迄 すのでは かってるる所もある又哈爾濱 ます 文化機 ――昨年末の施設概要― 大柄北鎌ツ聯従業員の所属で 地鎌菱牧期の近づきつよある 大板を強力の近づきつよある 各地に達した情報によれば去る十三日満洲里牙克石北方約 入十支里の地路にあるウォランツポッ林場倉庫附近にソ聯 入が襲來、設砲して林場員を すので特に特例を認めて居りま時と言ふことになつて居りま 京新 電話調味 · 協表彰會 協表彰會 從事員か 「田本州に起った低氣壓のため廿二日來廿一米といふ大暴 風雪襲來、漁船の順慢、交通 の杜絶等被害甚大である 十二月輸出入額 (東京関通)昨年十二月の日 本全土の輸出入額は左の如く を行ふ事になった。 を行ふ事になった。 大で二 で大村闘東軍交通監督 前郭族間が去る十五日開涌 京大線の未開通區域たる最 一月以降の入超男 北海道に 新京射越屋 を城南省、定河取引 を城南省、定河取引 を城南省、定河取引 英國造船學會 から金盃授與 林醫院 超累計 電氣治療 誘與絕大 医明二丁目二八 医明二十十分療院 新與絕大 込み下され 東こい 東こい 全 岩間商舎宝部 中央通り 新 京王家 一四の生また 院通り橋南渡します 保通り橋南渡る 左 福奉 證券 看護婦會 ますハガキで御申 高橋擦除 尾新聞舖 岩間商會宝石部 和通東一條角 の賣買に また 大工 前 本 一 二 本 似 ま 世界五七九三番東二條通二十一四番 指国一一一种定量时回回 会性一种企业的名词。企会会会在五人三五 社士课事 田龜鶴千 朝日新聞 の制度あり は 岡間の風景が、チカ田できる。 院 トーキー ・協の哀愁とテトッ ・協の哀愁とテトッ ・協の哀愁とテトッ ・協の哀愁とテトッ ・協の哀愁とテトッ ・協の哀愁とテトッ 世界無双導猛なる兩頭の蛇未 とエロとグロの大交錯 ルギー第一回の野心は!!! での名作「旅は青空」以 での名作「旅は青空」以 での名作「旅は青空」以 アイデアル 社存作日本版 ルイデアル 社存作日本版 ・ 主演 片鯛千惠藏、伏見直江主演再現! 新京キネマ 大ジャングルドラマ 原作邦核・第二 旅店 電話 家屋 土地 दि 懸を描く 接 雁太郎街道 介買. 3 一日間上映 十二日が 奇 座



0

右之者今般不都合に依り解雇仕候間爾右之者今般不都合に依り解雇仕候間爾 廣

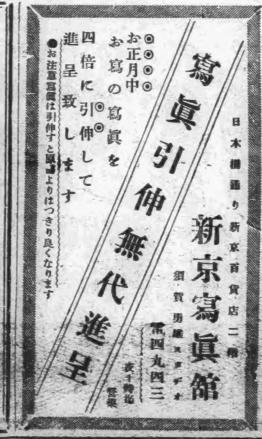
岩干名 事會課社 は品産土御のり歸地内 實 澤が品す召に氣御トツキ すまいざご山 0 9 糕 Ė 部石田合商間吉

「電話開通」

一、経理事務經驗者 一、集金人、檢針人 一、集金人、檢針人 一、集金人、檢針人 一、集金人、檢針人 一、集金人、檢針人 一、集金人、檢針人 若甲名 一、集金人、檢針人 若干名 一、集金人、檢針人 若干名

若干名

知 科 大 電六六四美番



謹付告爾

新京室町1丁目十九番地 上洋服店

雇

廣

市内ニ確實ナル保證人ヲ要ス

\* 小內 兒 料杏林堂醫院 高 信 之 割 烹

●天草丸每月一(大月卅一日) 有津穀 後五時 十一、二十一日

日本海日滿 連絡船敦賀行 滿

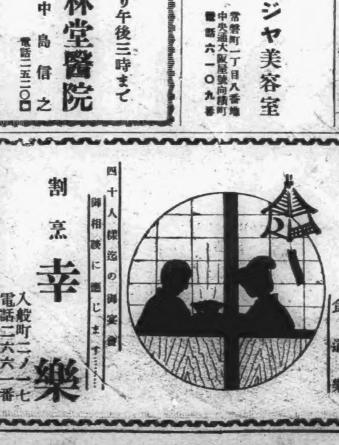
北日 水汽品 大阪商船株式會社大阪商船株式會社

治療受付

正午より午後三時まで

募店

毛糸の店



月丁二番七七

事局荷扱所を地國際運動、神戸開業船切り通用期間三ヶ月)

美美洋

術術髮

爪顏

町士富八六訂電

新京水樂町三丁目 **電話四六○六番** 領事館前京都旅館瞬 肛門病科科 兒科 4

科診目療 或

随意 入院

介紹御宅住 舖店 理管產動不 スマシ致融金テニ利低話電 前會教光金四五通條一東京新 **社 成 萬** 番四八八四話電

>> 大阪商船出帆 新光記

花外內病科科 都

ちつい

た御座数

族的

2

高尚な

綱紀人權問題

政性に就て左の如く

る用意あるものゝ如くである 及する意識なく支那側より誠 及する意識なく支那側より誠

同地問題ごして解決

日本軍の

攻撃は正當

意向

駐平日本當局

のことである、獨石口攻撃のでないとは云へ長城線を想へるも が成立で敵勢行動に出られれ が身に降りかいる火の物と 関様之に勝悪を加へるを得 ないであらう

般一服械ン類

日本軍需

然三八八八、

西

公

園

公主

を提議か

飛機越境着陸に

【北半隣通】日本軍攻撃開始 の支那側構道に関し営地出先 見の酸表を蒸整へてゐるが大

ソ聯政府が遺憾の意を表明

祭東問題協議

のため良くないから政民制のため良くないから政民制のため良くないから政民制から中止する 大幅との数もある。要する は政府と正直側 に政友會内は政府と正直側 ののはない様であるか

民政側は斯く観測

前中で打切り二十六日より速管であるが同日は午後本會議

との張硬論

殿を観行同日で本實護、質問残つてゐるので廿五日の質問 村並に中小商工業對策其他が 題、民政黨の無村譲三氏の長に政友會の蘆田均氏の外交問

食に移ることとなる。而して

(上海関連) 版田外租渡設に 多年の努力が報びられ、支 要に進んで日支融係安定の域に進んで 医り間慶の至りだ」と述べ 要に進んで日支融係安定の域に進んで と動の失任者と異り版田外 和は議會演説中「南京政府 を年の努力が報びられ、支 での努力が報びられ、支 での数に進んで と述べ での数に進んで を変し、 を変し、

日夜来寄\*會合して は成せんとして居 で追及せんとして居 で追及せんとして居 で追及せんとして居 で追及さんとして居

宝の亀井貫一郎の諸氏が満めた。関同の山道襄一、第一枠、関同の山道襄一、第一枠

ば各版の質問は一巡するが更

お局 大瀬相道及をせ 大瀬相道及をせ

頁八共刊夕紙本

教育所

爆弾を投げつけて 凝ご靜觀する政友 **氣味悪がつた政府チョッピリ** 

制度改革

二月頃實施

支那の軍師

追加豫算を承認か

はな成績をあげ今日に至つて 関な成績をあげ今日に至つて 期總會を開催する同変換所の 定期總會を開催する同変換所の 定期總會を開催する同変換所の 定期總會は年二回即も一月と 七月に開催されることになつ て居り今回は創立以來幾何も

に 体れば 野介石氏は 今回何 歴 ・ 会民 本師制度の 改革をな すこととなり 着々 準備中であ るが、 實施期は 二月頃と見ら るが、 實施期は 二月頃と見ら 新京組合銀行 定期總會

年十一月一日創立以來廣々堅新京組合銀行手形交換所は昨 北鐵治線に於ける公衆電信電 電氣課長と電々側松尾企畫建 電氣課長と電々側松尾企畫建 部業務、市橋外信及び豐田線

は現狀のまゝでおかれるはずの酸表及手形交換所の調費の 無いので現在までの事務成績 北鐵讓海

輪布進出のため生養の頼綿菜肴が提供 の氣運が著しく濃厚 の気運が著しく濃厚

日頃か

衆議院本會議質問

廿五日で打切

東京関連) 再開以来二日に 東京関連) 再開以来二日に 東京関連) のとなめを削す を議院に於ける床実遭相に終 を表議院に於ける床実遭相に終 を表議院に於ける床実遭相に終

を見た上幹部派が飽塩機硬に 出れば其の機能激しても遅く 数を見んとしてゐる、然し年 数を見んとしてゐる、然し年 を脱することに立るかも知れ ない情勢で強算機會の成行並 ない情勢で強算機會の成行並

外相演説こ

テーリーニ

全滿本

需給額

四百六萬石に達す

昭和九年度

| 上海國通』十四日朝の支那 | 二十日夜九時突如沽源、獲石 | 大砲二十餘天、大砲二十餘門を以て | 大砲三十餘天、大砲二十餘門を以て | 大砲三十餘天、大砲二十餘門を以て | 大砲三十餘天、大砲二十餘円を以て | 大砲三十十十十十十日で九時突如沽源、獲石

種々協議を行ひ正午散會した哲元は蔡東の情勢を述べた後者元は蔡東の情勢を述べた後 日満軍攻撃を報ず た後宋回 一月下旬よりは毎日一社當り 工貨車へ一貨車へ一貨車入事 計画 を 一月下旬よりは毎日一社當り 在貨を見たので、十二月末より毎週二貨車に機人を減少してある、一方比機會を利用した。而して昨年下半期に付七國二十萬國の要上高を示してある。

管里行とり出版。 に於てこれを行ふ事に決定、 時に報道と併行して電々會社 他二、三名がハルビンに赴く 時に報道を併行して電々會社 他二、三名がハルビンに赴く 機適信線の接收は調印と同 揮の爲本社より建筑業務限長 一、 取扱方式 分割し電々に襲後する の内より支縛するものである に線として現在の通信線 る経費は十年度兼備金百萬國 であるがこれ等新施設に要する場合は一回線を増設する方針 の内より支縛するものである しい しょう は 以上の他電々 會社では通信量 决定內容

、右護渡は有償とするか無 優とするかは更に協調する で、電々会談は沿線主要地に 電機局電話層を開設するは が鐵道電機の収扱ひを鐵路 につき七銭乃至八銭の手数 につき七銭乃至八銭の手数 にできたり電々に一通話 にできたりで、電話は現在便宜上鐵道電 にできたりがで、一、電話に現在便宜上鐵道電 を切り難し電々に於て經營

北鐵沿線

品取

の姿勢をこる電々會社

外油各社 (本天國働) 本天に於ける外 商スタンダード、テキサス、 所属石油高質鉄質施以來表面 大石油高等大では満 大石油高等大では満 大石油高等大では満 大石油高等大では満 大石油高等大では満 大石油高等大では満 大石油高等大では満

調印同

時に行ふ

一鐵電信

收

郎四善田安取頭

松風濾水氣

は

# 目品業營

車機重發洗石揮 曲曲曲曲曲曲曲 カカコクアグ 1 1 ラ

特約店 特約店 一次では之れから蒸溜水の代用水が得られます。 一次では之れから蒸溜水の代用水が得られます。 一、流を安心して飲めます。 「木店大連」(麦店業) 「木店大連)(麦店業) 「木店大連)(麦店業) 「木店大連)(麦店業)



に取扱ひが面倒であた。 あ用濾 りひ水またす せ濾る ん水器ので他

資滿本 木支 金店店 二井物產株式會社断 一大東 連市本橋 縣頭 全額排二丁目 三調七四〇五六六四一人〇三四二 社所三保保 檢

込香 濟地地 張京所

宅宅庫設施

社會式株准石本日 乌蝙蝠

品

代が不るのと設今少有個日分に刀中できで。實しけ同年為學本力。がは是 進で個詳積でて校諸なさ大一諸経中れ 呈申覽級を通校外君る机學の君對學か す込下は學學外教の全んでだ!的率ら るめさ内げ生中育爲國とは!數に業の ばい容で以學部めのす異我强必の世 無い見居上生をに青るにがは要學の

Air-

**是話回四百八** 五六四〇年 始開期學新春新 ② 何時でも入學出 拾大特色 (B) (5) (4) 上内 (5) 上内 (7) と 筆である。の執 がある。



日本は圓價低落と歐洲通貨換 事に於ける低廉なる勢銀標準 とに依り特標の利益を有する も日本の成功の大部分はその 工場設備、組織の能率と國民 解する必要あり、日本人は自 已の利益の為めのみならず園 日本工業上 0 即練を動勉の精神を有す日本 事を以て生活の手段と目する 日本人は凡て男女を不開幼年 る精神は祖國に對する義務の 財産を有するものと云ふべし つ日本の産業を旺んならしむ

### 白式もゆか 宮中御歌會始め き

十四日午前十時より宮中風風 間に於て 天皇 島后南陛下 場風麗間、正面玉座の御前に は約六歩をひかへて諸役の席 をしつらへ、午前九時半入江 をしつらへ、午前九時半入江 たは燕尾服に懺客を正して着 たは燕尾服に懺客を正して着 たは燕尾服に懺客を正して着 たは燕尾服に懺客を正して着 は、内苑の梅花漸くほころぶ新春の御行事歌會始めの御儀 院體者は何れもフロックに威 ・ 機を正して御待ち申上ぐれば ・ 大皇陛下には陸軍御通 ・ 大皇陛下には陸軍御通 ・ 大皇陛下には陸軍御通 ・ 大皇陛下には陸軍御通 ・ 大皇院方御後に供奉 凰

を有するものにして其の力は 後來多く保留され居たるも精 では必要に配じて現在よりも

會設立に對し補助を與へ又政に必額なるも組合丼に輸出協 

国 内に反動作用を開始するやも 高 内に反動作用を開始するやも 高 内に反動作用を開始するやも

日本産業は英間産業より大なる概味を有せり一例を撃ぐれば現在日本に於ける一人當り公債負擔額は近年日本の内國公債に莫大なる増加を見たるにも不拘英國の決れに比し著るしく少額なり日英間産業より大な

販費上に於ける急激なる合理 一つの原因はその購買製造及

天皇陛下御製

たのしけにた

池のほごり

りや住み

よかわ

るらむの

と協調を暴ぐべしこの點に

見當なりと稱するも大差無情観は恐らく英國の五分の他取得額に結びつけてのの他取得額に結びつけての

歌は左の通りである。 天皇 息后兩陸下出鉤の下に行はせられたがより宮中鳳凰間に於で、天皇 息后兩陸下出鉤の下に行はせられたが

ご陛下の御製御

三陛下

の御製御歌

洲

秦天省公署屬官 板野博美 秦天省公署屬官 伊藤崇三 秦天省公署屬官 伊藤崇三 井上 宗親

治安の

口

鄭家屯の活況

舊年末商况も順調

河原烟威一郎

給八級俸 給九級俸 奉天省公署 公衛屬官 國家常 養本榮夫郎

率天省公**考賜官** 森 **奉天省公署** 率天省公署

天千

長三一〇〇百番

こせ五七番

電話 圆 五三一二番新京朝日通二五番地

用 命

11

電話三三〇〇番へ

會

館

給

(B

その日常生活の一部をなし且るものなるが忠誠と宗教とはるものなるが忠誠と宗教とは

民的結束の精神即ち回顧すれ らるる場合に於ては薩策上の大をなさしむるに対し貢献す れり 政府は共同動作の必要を認め大をなさしむるに対し貢献す おり

を受し、 を必ず、 をし、 をでは、 をでは、 とをでは、 をでは、 とをでは、 をでは、 とをでは、 でいる。 でい。 でいる。 でい。

皇

太后陛下御歌

大君の千代よふ田鶴

0

み池の鴨も

UD

3

ますら

三二年中に於ける日本恋業ののなるべし同氏は日く「一九別なるべし同氏は日く「一九別なるべし同氏は日く「一九別なるべし同氏は日く「一九別なる」と有いたがける日本恋業の

皇后陛下御歌

たつのこえみ

P

のうちまて聞えきわ

御池の岸に

2

熱河

省に於ける

する寺小屋式のものである して居る

二百、羊百五

産品の品質向上を見且つ
増大ありしのみならずそ

四、產業

五、宗教、教育

主として最牧衆栗であり、農

を 宗教は清朝の製濃政策により 会院堂塔の見るべきものあり には必ず親顕寺を保設せしめ には必ず親顕寺を保設せしめ にほが、宗教無は他地方に比

り、統制上當局者の注重を要り、統制上當局者の注重を要り、統制上當局者の注重との表面製しく見ゆるも離反して居る事實あり、統制上當局者の注重を要

新緑等の故障多く間滑でない。電極の取扱をなすも、電極の取扱をなすも、

では、 ・ として羊牛毛を原料とせる被 形の製造あり販賣組織と技術

洲國の帝政資施を謳歌して居 総情長好、西洲側に對する認 は蒙古人の権力復活なりて滿

問題とするも日、他の現代的なる

**積極的指導の必要がある**阜

散雷の改良、飼育法の改善等

特徴出王府

七、王府

東特默土王府(阜新)

高手であるが、開 東、開番に通ず は開春縄家店よの財界に所務會の政局、電報局、

外に羊毛製材 り商人の大牛2 り移住せるもの

合について 話でもある、商人は許す限り もなつてある物質高は苦痛な もなつてある物質高は苦痛な しないでもあらうし消費者側からす でもあらうし消費者側からす

ば世界大戦中英國民を奮烈せ しめたるが如き精神こそ日本 関係薬の一大原動力たり日本 将来の競展を正しく評價せん とする者はこの事實を看過了 べきに非ず

政府の援助

本政府は産業の指導と獎勵

四、産業に對する

高く覆つて澤山礁けたいだら って安い物を買ぶといって出 来たのがこん度の官吏消費組 自分達の手で消費組合をつくこで商人がいつまでも物價を

利益ばかりを主張して譲らな然し販資者と消費者がお互の 受けられ又官財 はないだらうか はないだらうか 一二倍から三倍に 一一倍から三倍に

可分の關係から な考慮して緊急 を考慮して緊急

縦に財界の不況

辺のおそれはな

おあり尚ほ別に直接補助金支 ・ところに使れば日本の産業は ・ は農家を確誠に導きたる迄に ・ は農家を確誠に導きたる迄に ・ に補助金はその金額及その産業は ・ に補助金はその金額及その変 ・ にも補助金にありと云ふ程多 ・ にも補助金にありと云ふ程多

H

醫院

小兒科·物療科 內科·x光線科

院長醫學博士

學町東一 吉田秀雄 (公學堂館)

電話五九一一 國辭令 

プンポ戸井立日

脈五十馬二

に力を注ぎつゝある状内なり、他王府に比し教育を立場校一、私塾二、王府立原

僧 住 車 新 に 至 、 を 新 に 至

奉天省公署縣官林

荷申込は小荷物投所へ此内二四五香)にされ 中央通十一番地

庫豐富 店 レ勿ス落見 ▲東京銀座の人氣者… 日曜 日土 入城村 工十銭 ▲最軍尉問の使命を果した彼を膝大に強りませる 製チャップリン君送別のタベ 「街の灯」ピイナッツペンダー「ものまね」その他 !!! 新京日本橋通り

一手特約店

商

廣 防 告 0 寒 御 毛具 皮は よ

新春。

ある、満州

聖富荷着! 輸入組合加盟店 H

保管叮嚀。 流質品澤山有ります、流質品澤山有ります

肥後屋質店

質

電話五二九四番

一、がに京澤後を手があ。・一時のの間を自動を御利用額ひます。

一切迅速確定に取扱い致しますから御用の節は電話を、同到清驛留小荷物代理引取及配達及代理託送

(派涛運輸公司 合

教廷三〇九二番

愈々酷寒來る

事門店 新京毛皮洋行

(喫茶ナナ隣)

お婿され

/記念公會堂 /の食堂經營者

たので希望者は新京局で求 茂藤一郎の三氏同伴挨拶に來いであるが大強、奉天の斯電 尾龍夫氏は二十四日午後、同下原稿を急 報と改照獲刊する同社々長中下原稿を急 報と改照獲刊する同社々長中

▲渡邊配治氏(熊本縣)大連から錦町三丁目第三鈴ビルルら錦町三丁目第三鈴ビルルトの錦町三丁目第三鈴ビルルトの錦町三丁目第三鈴ビルルトの錦町三丁目第三鈴ビルート入號室へ 本小野木八郎氏(岐阜縣)大連から同上へ 連から同上へ ・ 大連がら同上へ

作成するこ 作成するこ 作成するこ

大

新京日報

居

住

消

息

幹部挨拶に

種痘證明なして

渡台は不可能

旅行者は御用心のこと

書を所持すること

は從來種痘證明書の携行を要大鹽汽船輕由台灣ゆき旅客に

してない旅客に對して

主金横領の

恶店員

一路線一營業主義に蒸く新京市並に就いては目下市と清電と立に就いては目下市と清電と立に就いては目下市と清電と

逮捕さる

東 れ東新京原が完成されるまで 東 れ東新京原が完成されるまで 東 により更に設立が促進される 新京輝を中心に市内は放射状 北 四月初旬には會社設立となる に増加され、原間制による料 の である、右倉社設立となる に増加され、原間制による料 の である、右倉社設立となる に増加され、原間制による料 の である、右倉社設立となる に増加され、原間制による料 の である。右倉社設立となる に増加され、原間制による料 の である。右倉社設立となる に増加され、原間制による料 の である。右倉社設立となる に増加され、原間制による料

六九九四番が架設された人鳥霧留小學校には公衆電話

から新京醫院コートで行はお草球試合は二十四日午後四時新京鐵嶺事務所對新京醫院の

(中国中)

八島校七學級、同じく

愛媛縣人會の 大神・一路 変優縣人會の清水中將の歌迎 変會は二十三日午後六時から 教亭千島で開催された、出唱 を表表で非常な盛會をきはめ

か多く入港の僚多大の支地検疫官に依頼して港外地検疫官に依頼して港外地検疫官に依頼して港外

1 Cl 1 九 2 は昨年二月二十九日三號元三 浦洋 行店 負傷 村靜

### 舊年末多忙 志に聯合會 息工 歳でも明けたら れる 反消運動 別の形で D

九、四〇經濟市况(東京より)九、四〇經濟市况(大連より)
一〇、二〇經濟市况(大連より)
一〇、二〇經濟市况(東京より)
一〇、二〇經濟市况(東京より)

00

指揮するないない。

一〇. 五九 時

(東京より) 原及大連より) (東京より) (東京より)

八、三〇経済市况や前の部

六

8 ō

番花 調 調 報子 清治

ti

歌澤寅右衛門

四ッ三

彈線 義

け

\$

?

## **聯合會を開催する空気にあつれては本月では反っては本月では近日の臨時では近日の臨時では反っては本月の** 田商時聯合會長 幹事長訪問

曾議所のよりあひ

〇、〇一 経濟市况 〇、三〇 ニュース 〇、三〇 ニュース

〇、〇一の部

一成を見た満洲國官東消資組合 ・ 成を見た満洲國官東消資組合 ・ 大震文を手交してその質判を ・ 大震文を手交してその質判を ・ 大震文を手交してその質判を ・ 大場へする旨を雄べ四田氏は ・ 一方へ 消組撤廢の决議文を手交

兒童

満電ミ市合資の

大汽車公司設立

「月頃には實現か

地方事務所では二十四日各小の學級編成その他に闢し新京

十五銭、

第天四十銭である

價格は大連四

社した

日出生日出生日出生

小學で十三

學級を増

加

五、長男崇さん十五日田村亭氏へ敷島通り四

出號

は脳牙舎宅向十四段局、整合家具は

梅枝町三ノ六

都ビル

見當

ロまでり届出るで、二十四か打合せを行ったが、二十四

八島小學校

事新京醫院 卓 球試合

話

る日滿語研究會は來月下旬西 窓町、西廣場雨小學校、普通 八島 校 も 加入 索をなし間據品を押取した村を逮捕するとゝもに家宅 會に 日滿語研究

た。來月中旬隣京の豫定 時新京観列車で内地へ出設し 時新京観列車で内地へ出設し 赴日 鷲尾理事

に會し準備の打合せをなした の白菊、八島南小學校も加入 の白菊、八島南小學校も加入 では今度新設 の白菊、八島南小學校も加入 では今度新設 では今度新設

五、〇〇 子供の時間 (京城上り) 見霊劇 影 池上り) 見歌劇 影 池上り)

錦安本鐵昌懷章 縣東溪嶺圖德天 湖

一割三分三厘司 三割六分司 三割八分司 三割八分司 三割八分司 三割八分司 三割八分司 三割八分司 三割八分司 三割八分司司 三割八分司司 三割八分司司 三割八分司司 三割八分司司

皇軍

一線にたつてゐる皇軍を嚴問 もので締切は二月五日であの極寒と職ひながら関防の第 なつたが價格は五十銭程度 新京 櫻祝會員か

6

問袋を送

食劑 (1) 音訊

が店の一曜はに事度待の礼建族駅お

市献立八番日紀洋使大阪神へテ市部世虹シマス 市定義/市価段賞を主ナル召上リカ下記/選リテス

紅茶サンドウはッチ洋菓子、季節飲物、季節果物

● 釈洋食英出輸出張 お調理致シマス●

¥ 1.50 ¥ 200 ¥ 1.00 -¥ 1.50

京新都国

大スラ史像 ¥100 裏 内 ¥ 80 ホ子様弁第 ¥ 50 ・まるよぞ)に資本とあり返コーヒ

¥ '80 \$ 50

四三二ヶ海語〇〇

1、 語)(哈爾漢より) キチアナの日 ・ レコード ロール 第一次 タラダリフ コール 第一次 タラダリフ フール カール カー カール カール

座ずのく現り城 いとで復在時内

一谷瀬軍記 (大阪より) 一谷瀬軍記 (熊谷陣屋の段) (熊谷陣屋の段) 時報、ニュース (東京より) ニュース (東京より) ニュース (東京より) ニュース (東京より) 一、斬 子 曹組豫告(滿語) 明 昇 平 曹館 戦館

ま微弦雑の々某 す苦にな有混所 笑一る無同に

な言手はせ弊が弊數知ら社 ら社をりれと 申は踏まて同 っむせ居音 上洗にんり字る濯到がまの **次業り最し洗** 第一ま近た濯 **三**平社 でにし甚該業 御非たし店あ

日

間日二

型行流新最 告 ブ管 向業 上ガ重 前堂子太目丁二町說 書九〇二三話 體 命展 で本研マ棒と黄日 全妖新監故\*
あるの神がる原稿本 發星 4野園
かみ野以豆蘭の版 聲星 人豆口ュ 金料

日間 共 晝夜二回 夜晝 演然人比ンマーイワ・スアチマ・嬢レーイテ・タルへ・嬢クーイウ・アテロド ザリエ はに丘小の フーホンレーエ、きゅあ女鷹るへ言とナンアに湖のダルガき聖 六上

に の 人 二 ひ 合 び 結 は し に え き し 奇 く 理底の湖のダルガ 、きりか多に幸のナンア 、でま り知相は女闘の人二ひ合び結はし



新京商工

會議

新二して左」頂く前半年同期 被少を豫題されてゐたが、財 政部國役料の調査によれば本 年便(昨年七月から十二月ま で)の税教入は極めて成績能 芳賀新京鐵道本務所長は二十 芳賀鐵事所長 記者團招宴 

模範稅捐局設立で **匈稅成績良好** 財政部國稅科の調べ に比して何れも増加を示し

一 图 五 图 图 五 图 图 五 图 图 三 图 图 三 图 图 三 图 图 三 图 图

変われても 変われても が発売され

會議所法實施

で期待さる

所

キネレユナリナ西バミセセミキトカシフ長や山野馬玉ホシウーモ ンス セツ ロカウウボナ パッ 鈴 ーヤカブンズシゴビ瓜リバリリンリガチウキ根で芋=薬葱レク

〇八〇三〇三〇〇〇二〇五三五五三〇八〇五三二五五〇六六二〇四五三八八〇四七〇三七四五〇〇〇〇

大五三一〇八七五五 五〇〇〇〇二元三六〇八〇八八五四四〇八二三〇六六六五四〇八四二四四五〇五

錢十三

鏡

効關發報 果紙行へ 

ア國浦於

田トでは

A

和和和和教育 電報宣傳 満級行所 満場の行所 満場の行所 満場の行所 満場の はいまれて はいまれて はいまれて はいまれて はいまれて はいまれて はいまれて はいまれて はいまれて はいまれていません はいまれていまれていません はいまれていません はいまれていません はいまれていません はいまれていません はいまれていません はいまれていません はいまれていまれていません はいまれていません はいまれていまない はいまれていません はいままでは、 はいまままでは、 はいままでは、 はいままままでは、 はいままでは、 はいままでは、 はいまままでは、 はいままでは、 は 17) 刊)漢文 廣進

二業

部業事會員社鐵灣京新接後會賞鑑畵映京新。

啓 監 ● !!作大の慢自 L.C.P 高最界 斯本 日。慶 設 全 演出總局 合 座一ンケノエ 他 L 、O、P イデメコクッジュミ 用使 #影 撮 ルエチッミ 秀 優 最 界 世 いあさ。すでるけるを置とつばる館かる出が蛇

見當が更につかねえ

動は、どうやら聞える

通行して、些かの動が、既にあり

ラにする - と野つて、他のした つてある観を見上げると、縦のや つてある観を見上げると、縦のや

はを続けて行って、人に告はでも はいるはもとより伝衣からだけてきた が、この誰で、二人の腋に出食ひ が、この誰で、二人の腋に出食ひ が、この誰で、二人の腋に出食ひ が、この誰で、二人の腋に出食ひ が、このも、どう

間間が、高手小手に持られて、他 に近の木の根元に、五十齢9の

橋りつけておけば、日が暮れると

関リ上げて、関ふの山道へ観入つ

いばら、かぐか、軽彩の勘つた・

「何うだな、何寒も人助けだ。」

四郎は、一寸か首をひねつてる



= 4

(五十五) (五十五) (五十五) (新いところかららしく。) ぶいところかららしく。) がけてくれつ。 「野けてくれつ」 「野は、「町町の棚舗を辿って あたが、それより上にまた山巌が は あたが、それより上にまた山巌が は がいます。 お願さんは、別さんか! つて、

「うむ、苦しい…

こどうぞ、神野

別能は、一勝衛子を振ってから

筋けてと云つてゐるから、大孩 たさん、何だらう?」 を、 いたれよか、 かな が 「その姿は、何うしたのだ?」

1かけて置った上、実際がふりかけてやらうぢゃないか」 が『はい、歌い似に過ひまして。これな目に過ひました――まつたくんな目に過ひました――まつたくますと、下頭を2の酒る足質が関えましたから、続けて長れと覆を 「動かがとれへお出で下すったの 僧侶は南眼から、顔を凝した。

と、四郎は、上を見上げながら

## 闡碁界の大家 瀬越憲作先生は

ませ

5

沿るものを沿さずに

おくのは愚かてす

散週間

せき

頭腦の攝生に就

近頃驚かされた話 斯ら申されます

喘痰

息。咳

誇りです。人選みや公舎の席上でコ 眼睛を観発にする事は交野人の

と腹をする人達は、たんせきは

治療し得る

といふ事を知らぬ罪交際人といへるからで

永年慢性にて苦悶せる人も、一度

開角散の治療を施して

ごらんなさい。

快い印を迎へ ることが出来

二時間の對局でも勝極の芯まで液れ果 恐らく誰でも經験する所でせう。 てゝ暫らくは放心狀態ごなる 々相摩する熱戦を演じますご値か一、 るまいと思ひます。好歌手を迎へて飲 茶や胸棋ほど頭腦を勞することはあ 殊に頭の重い日や頭痛のする時は充 さは

百。感

日、胃、

ン作用に因る感冒に雇ります。お子供

さんならば。百日咳です。これ等は

油"

すると脈炎、脈膜炎、脈結核等に懸症いた

します。然し兄來怠怯難の嫉難は治療

効果も遊かですから、

節報の離舎散を

お用ひになる事

をお薦め歌し

灯を持つ響ではありませんが、 頭をよけいに使ふサラリーマンや學生 の持葉として遊し是程の適葉はないだらうと思ふのであり だしはつきりして來る道理でそれに胃腸に降らないのが何よりです。 方なられ苦心を襲しますが、 外な實力を發揮する事が出來ず思は四不覺を受け勝ちですから常に頭 た頭痛が間もなく止つたので、先づ相當なものだと感じましたが、その れやか」といふ頭の楽です。 後連脹するにつれ頭をのものが强くなって行くやうな気がするのです 服んで見た結果を書けと云はれるま、に指文を認めただけで 敢て提 頭の禁養者 調子を整へ、 機略経構な策謀が練れるやうな頭腦明快法に就いて一 成程頭に荣養が充分與へられるから抜れもとれる認 初め服んだ際、折柄削れそうに強んでゐ 此の意味に於て近頃驚かされたのは『は そ 肺。 寒さに向ふと俗にいふ引風、交はパ

れる頭痛薬の慘害 職病の酸は俗にいふカラセキで 東戦略に係続せる活動、脈脈所の瞬題に

の病

依つて、それを挑戦し逃れようとする質

つひぶんしいカラセキと これを捨て」おくと反

病熱が進み、從るべ

きものも沿りま

動に因って公人 なるのです。

せん。此點兩种の龍角散を必ず

お用ひ願ひます。

器用激表を極め

て居ます。

| 10 | さんは日野、野解医学 れが洗して軽くないのです。 | 作ありませんが、気度出験性化学 | から、然しそれはほんの一時のうは しい気がとして野戦を関いたとう。然しそれはほんの一時のうは しい成がとして野戦を関のであるかの短く歌 する本形幅とつて関やかに遭み | であります。 | 頭腦まで惡くする危險

連用すると胃腸か糜れ



それが、動けを求めて置る者に「準州財智無秩業山の麓、犬器とい「御塵だ、何塵だつ!」 「はい、悪骸は、何を難しませう

とふでどざいます。といだつ、

います。戦化のために、この過を 戦団衛日戦と戦しまする者でござ

ひょだつー



大四十八四二 十八日日日 定 分分分分分分 二一五三二 價十十十

三郎商店

斯雅島町

其他土木建築諸材料商

新京ダイヤ街老松町 天野 電話長二九六七番

(A)

記話は七九の太

新京説町ラ三(県地町)

ポカポカ解消 が一個助の一足で 何どこの寒さ!

では、これのは、これので 蒙各界御指定御採用 宮崎組新泉山張

目種業營

世帶道具一式 和洋酒罐計類 食料品雜貨

あ

K

日獨醫化學研究所

店